



2024年04月01日発行

安全データシート (SDS : Safety Data Sheet)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称、品番 : タイルパネル用補修目地(主剤)、
MJE-2F-200G/11K,MJE-2F-200G/22K

供給者の会社名称 : 株式会社 LIXIL

住所 : 東京都品川区西品川一丁目1番1号

電話番号 : 0120-126-001

項目2以降は、2頁以降を参照

作成 2012年09月1日
改訂 2021年10月1日
改訂 2022年12月1日
改訂 2023年3月29日
改訂 2024年3月29日

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : ユニットバス壁補修用目地 (主剤)
品番 : MJE-2F-200G(HK)/11K、22K (主剤)
会社名 : 株式会社 LIXIL
住所 : 東京都品川区西品川一丁目1番1号
担当部門 : LWTJ タイル事業部 タイル製造部 伊賀上野工場 品質保証課
緊急連絡先 : 〒518-0022 三重県伊賀市三田 1030 番地
緊急連絡電話番号 : TEL 0595-21-5114 FAX 0595-24-1601

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性	: 火薬類	区分対象外
	: 可燃性/引火性ガス	区分対象外
	: 可燃性/引火性エアゾール	区分対象外
	: 支燃性/酸化性ガス類	区分対象外
	: 高压ガス	区分対象外
	: 引火性液体	区分外
	: 可燃性液体	区分対象外
	: 自己反応性物質及び混合物	区分対象外
	: 自然発火性液体	区分対象外
	: 自然発火性固体	区分対象外
	: 自己発熱性物質及び混合物	区分対象外
	: 水反応可燃性化学品	区分対象外
	: 酸化性液体	区分対象外
	: 酸化性固体	区分対象外
	: 有機過酸化物	区分対象外
	: 金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	: 急性毒性 (経口)	分類できない
	: 急性毒性 (吸入: ガス)	区分4
	: 急性毒性 (吸入: 粉じん)	分類できない

	: 皮膚腐食性／刺激性	区分 2
	: 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分 2 B
	: 呼吸器感作性または皮膚感作性	分類できない
	: 皮膚感作性	区分 1
	: 生殖細胞変異原性	分類できない
	: 発ガン性	分類できない
	: 生殖毒性	区分 1 A
	: 特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	: 特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）	分類できない
	: 吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	: 水生環境有毒性（急性）	区分 1
	: 水生環境有毒性（慢性）	区分 2
	: オゾン層への有害性	分類できない

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

<ラベル要素>

絵表示又はシンボル



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 吸入すると有害
	: 皮膚刺激
	: 眼刺激
	: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
	: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
	: 水生生物に非常に強い毒性
	: 長期継続的影響によって水生生物に毒性注意書き

注意書き

《安全対策》

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。取扱い後は接触部位や手をよく洗うこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。汚染された作業衣は作業場から出

- 皮膚に付いた場合 : 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。ガーゼ等の布でよく拭取り、大量の水及び中性石鹼を使ってよく洗い落とす。溶剤・シンナー等は使用しない事。外観に変化が見られたり、痛み、かゆみ等がある場合は直ちに医師の診察を受ける。
- 吸入した場合 : 風通しの良い空気が新鮮な場所へ移して呼吸しやすい姿勢で休息させる事。
症状が改善しない場合には、医師に連絡する事。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに水道水で口内をすすぎ、直ちに医師の診察を受ける。意識が無い場合は口から何も与えてはいけない。医師の指示による以外は無理に吐かせない事。
-

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 小火災・二酸化炭素、粉末消火剤、散水、乾燥砂などをもちいる。
大火災・泡消火剤を用いて空気を遮断する。
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 特有の危険有害性 : 火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガス及びヒュームを発生する恐れがある。
- 特有の消火方法 : 消火剤のうち、散水以外の消火剤を利用すること。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学保護衣を着用する。
-

6. 漏洩時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏洩した場所の周辺には、ロープを張るなどして人の立入りを禁止し危険区域での火気使用を禁止する。風下の人を退避させる。
作業の際には、必ず保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出したものが、下水、河川に流出するのを防ぐ。
- 多量の漏出時 : 可能な限りせき止めし、ポンプ（防爆型）等で回収する。又は砂、ウエス等に吸着させドラム等に回収する。
- 少量の漏出時 : 砂、ウエス等に吸着させ、密閉容器に回収する。
-

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い上の注意 : すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れない様に適切な保護具を用し、直

接の接触を防ぐ。

局所排気装置等を設置して換気を良くする。

休憩所には洗顔、洗眼、手洗い等の設備を設け、取り扱い後に手、顔等を良く洗う。労働安全衛生法、消防法等の関連法規に準拠して作業する。火気厳禁。周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取り扱いをしてはならない。

接触、吸入又は飲み込まないこと。眼に入れないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること。

「8. 暴露防止装置」を確認の事

保管上の注意	: 直射日光を避け、容器を密栓して風通しの良い屋内に保管する。 ボイラー等熱源付近や可燃物の近くに置かない。
混蝕禁止物質	: 「10. 安定性及び反応性」を参照の事
容器 :	: 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。 ステンレス等の密閉容器を使用する事

8. 暴露防止装置

管理濃度	: 20ppm
許容濃度	: ばく露指標) : 日本産業衛生学会 (2020年) : 50 ppm(188mg/m3) (皮膚吸収性) TLV-TWA : 20ppm (皮膚吸収性)
設備対策	: 屋内の取扱い場所は局所または全体排気装置を設ける。 取扱い場所の電気機器は防爆構造とし、機器類は静電気対策をする。 取扱い場所の近くに洗眼器・シャワーを設け、その位置を表示する。 取扱い後はよく手を洗うこと。
呼吸器の保護	: 防毒マスク (有機ガス用)、送気マスク、空気呼吸器を着用。
手の保護具	: 保護手袋 (耐薬品性) を着用。
眼の保護具	: 保護眼鏡、ゴーグル、防災面
皮膚及び身体の保護	: 保護長靴 (耐薬品性)、保護服、保護前掛け等。

9. 物理及び化学的性質

物理的状態・形状・色など	: 無色～淡黄色粘稠液状
臭気	: エポキシ臭
pH	: データなし

融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: >93°C
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度（空気 = 1）	: データなし
比重（密度）	: データなし
溶解度 水	: 種々の有機溶剤に可溶。水にほとんど溶けない。
n-オクタノール/水分配係	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の貯蔵条件では安定。
反応性	: 強酸化剤、強ルイス酸、強無機酸、強無機塩基、有機塩基（特に 1、2 級の脂肪族アミン）と激しく反応する。硬化剤の中にはかなりの発熱を伴って急激に反応する物がある。急激な硬化反応時には有毒な気体の発生を伴って分解を生じることがある。
避けるべき条件	: 高温加熱、混触危険物質との接触、火源
混触危険物質	: 強酸化剤、強ルイス酸、強無機酸、強無機塩基、有機塩基（特に 1,2 級の脂肪族アミン）

11. 有害性情報

急性毒性 経口	: 分類できない
急性毒性 経皮	: 分類できない
急性毒性 吸入（気体）	: 分類できない
急性毒性 吸入（蒸気・ガス）	: 区分 4 混合物計算推測値（LC50）: 4695.65 ppm 吸入すると有害な物質を含む
急性毒性 吸入（粉じん・ミスト）	: 区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分 2 皮膚刺激がある物質を含む
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 2 B 眼刺激がある物質を含む
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 皮膚感作性 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれのある物質を含む

生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 区分 1 A 生殖能又は胎児への悪影響のおそれのある物質を含む
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし ビスフェノールA 型液状エポキシ樹脂 L(E)C50(48H) 甲殻類(又はエビ類、ヨコエビ類、アミ類)(オオミジンコ) 1.7 mg/L
残留性・分解性	: データなし ビスフェノールA 型液状エポキシ樹脂 急速分解性がない ((BOD による分解度 : 0%)
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
水生環境有害性 短期(急性)	: 区分 1 水生生物に非常に強い毒性のある物質を含む
水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分 2 長期継続的影響によって水生生物に毒性のある物質を含む
オゾン層への有害性	: 分類できない

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
特に製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 処理に関しては、十分な知識を有する専門家の指示に従う。 残余物の処理は、焼却炉で少量ずつ処理するか、都道府県知事の許可を受けた、信頼のできる廃棄物処理業者に、廃棄物の危険・有害性を充分告知の上、その処理を委託する。
汚染容器・包装物	: 空容器は残油または気化した蒸気の引火、爆発の危険があるので、密栓し、指定場所に保管する。残油の回収、蒸気開放等未処理の空容器の切断、溶接等の加工はしない。廃棄する場合は内容物を完全に除去した後に処分する。
焼却する場合	: 珪藻土、おが屑などに吸入させて開放型の焼却炉で焼却する。

14. 輸送上の注意

注意事項	: 輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないことを確認する。転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行い、該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
国連分類	: クラス 9 (環境有害性物質)
国連番号	: 3082
容器等級	: III
緊急時応急措置指針番号	: 171
陸上輸送	: 消防法、労働安全法に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送	: 船舶安全法に定められるところに従うこと。
航空輸送	: 航空法に定められるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法	: 危険物第 4 類第 3 石油類 危険等級Ⅲ 非水溶性
化審法	: 優先評価化学物質 (法第 2 条第 5 項) 874, 4'-イソプロピリデンジフェノールと 1-クロロ-2, 3-エポキシプロパンの重縮合物 46 トルエン
労働安全衛生法	: 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9) 407 トルエン 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号別表第 9) 407 トルエン 変異原性が認められた既存化学物質 (法第 57 条の 5、労働基準局長通達) 皮膚等障害化学物質 (労働安全衛生規則第 594 条の 2 第 1 項) 皮膚刺激性有害物質: トルエン 皮膚吸収性有害物質: トルエン 171 ビスフェノール A 型エポキシ樹脂中間体
化学物質管理促進法・PRTR	: 非該当
毒劇及び劇物取締法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 有害液体物質 (X 類物質) (施行令別表第 1) 64 ビスフェノール A エピクロロヒドリン樹脂
労働基準法	: 疾病化学物質 (法第 75 条第 2 項、施行規則第 35 条別表第 1 の 2 第 4 号 1) ビスフェノール A 型エポキシ樹脂及びビスフェノール F 型エポキシ樹脂

感作性を有するもの

(法第 75 条第 2 項、施行規則第 35 条別表第 1 の 2 第 4 号、平 8 労基局長通達、基発第 182 号) ビスフェノール A 型及び F 型エポキシ樹脂

16. その他情報

■本製品をご使用の際は必ず下記文献をお読み下さい。

「エポキシ樹脂及び硬化剤のただししい取り扱いの手引き」エポキシ樹脂技術協会編

■ご使用前にご確認ください。

本製品は弊社にて確認を行い万全を期しておりますが、使用目的や使用条件・使用温度等により本製品の性能がでない場合がありますので、予め需要家様各位にてご確認・ご納得の上ご使用いただきますようお願い申し上げます。

■参考文献

- ・石油化学メーカー・原料メーカー「製品安全データシート」
- ・化学工業日報社「化学物質管理促進法対象物質全データ」
- ・化学工業日報社「労働安全衛生法対象物質全データ」
- ・3 省告示（厚生労働省、経済産業省、環境省 GHS 関係省庁連絡会議：NITE HP）
- ・安全衛生情報センター
- ・製品評価技術基盤機構

■記載内容の取り扱いについて

- ・記載内容は、現時点で入手できた資料や情報、知見に基づいて作成しております。危険有害性の評価は十分ではありませんので十分注意してください。新しい知見により改定される場合があります。
- ・安全データシートは、危険有害な化学製品について安全な取り扱いを確保する為の参考資料として取り扱い事業者提供されるものですので記載されたデータや評価、情報については取り扱い事業者への情報提供でありいかなる保障もなすものではありません。取り扱う事業者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講じる事が必要であることをご理解した上で、本データシートをご活用ください。

従って本データシートそのものは、安全の保証書・品質の保証書ではありません。